学校番号	3032Ｂ

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(学)一般社会Ｂ	単位数	１単位	年次	２・３年次
使用教科書	整理&演習「基本ワーク社会」　(増進堂)						
副教材等	教科作成のプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

一般社会Ａの続きの科目になります。後期からこの科目を受講する人は、前期の内容を自力で勉強しておく必要がありますので気をつけてください、
地理・歴史・公民全般の内容に加え、時事問題等についても適宜取り扱う。どの指導においても基礎・基本を重視し、社会人として必要な知識の習得をめざす。学習内容が定着しているかを確認する機会も設ける。

2　学習の到達目標

○既習の内容や一般社会 A の内容をおさえながら、公民分野の一般的な用語について理解を深めている。社会に出るうえで必要な基本的な知識の習得をめざします。
○新聞やニュース等で時事問題を取扱い、問題について考察し自分の意見をまとめ表現することができる。
○発問やグループワーク等を通じて提示する様々な問題を深く、また自分のことと関連させて考察することができる。
○学習した内容やその振り返りを踏まえ、習得した知識や考えたことを活用し、社会の一員として自身の進路選択や今後の人生に生かすことできる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:現代の諸課題を再度捉えながら考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念・理論・制度などについて理解する。 技能:多様な資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・社会問題や現代の諸課題について自分自身の考えをまとめ、他者に自分の考えを発表することができる力を養う	・学習した内容や取り組み姿勢を振り返り、その後の取組などに生かすことができる力を養う ・授業や課された課題に意欲的に取り組む力を深める
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共の復習Ⅰ	①国民経済 ②金融・財政・社会保障 ③国際社会	a:各項目における基本的な用語や制度について理解できているか。 b:各項目と我々の生活や暮らしがどのように関連しているか考えることができているか。 c:各項目と我々の生活や自らの生き方を結び付けることができているか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	学習状況の観察
	公共の復習Ⅱ	①思想・文化史 ②人物史 ③日本と世界の結びつき・名数	a:各項目における基本的な用語や制度について理解できているか。 b:各項目と我々の生活や暮らしがどのように関連しているか考えることができているか。 c:各項目と我々の生活や自らの生き方を結び付けることができているか。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	学習状況の観察
	時事問題・学習内容のまとめ	①興味・関心のあるニュースや人物などについて調べる・発表する ②学習してきた内容を振り返る	a: 各々が興味の持っているニュースに登場する用語や制度、人物について理解できているか。 b:時事問題や興味のある人物ついて自分の力でまとめ発表することができているか。 c:多様な問題がある中で自己との関係に着目して主体的に題目を選択し、調査することができている。	定期考査	レポート 定期考査 ワークシート	発表の様子 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度